

IV 落札者決定基準

下表により、価格点と技術点の合計点数が最も高い入札者を落札者とする。

広島市立病院機構財務会計システム総合評価審査委員会に諮り、最終的に落札者を決定する。

なお、入札参加者が1者の場合でも、「落札者決定基準」により、提案内容及び入札価格等に評価点を与え落札者を決定する。

評価要素		配点	配点	
A 価格点	導入費用の評価 { 1 - (導入入札価格 - 最低導入入札価格) ÷ 導入 予定価格 } × 配点 (満点)	50 点	100 点	
	保守費用の評価 { 1 - (保守入札価格 - 最低保守入札価格) ÷ 保守 予定価格 } × 配点 (満点)	50 点		
B 技術点	技術 回答	①提案内容・ヒアリング評価 要求仕様及び項目に対し、自由記載による提案を受け回答内容に応じ採点する。	100 点	300 点
		②要求仕様に対する評価 (基礎点+加点) 択一式回答方式により、「機能要件 (必須)」を全て対応可能な場合に基礎点を与え、そのうち「提案するシステムが標準で備えるもの」等の割合により加点する。	200 点	
C 総合評価点	A + B		400 点	

※小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示とする。

- i 最高得点となった者が2名以上いる場合は、技術点が最も高い者を落札者とする。
- ii ただし、技術点が最も高い者が2名いる場合は、当該入札者によるくじ引きにより決定する。

<B 技術点の配点評価>

① 提案内容・ヒアリング評価

分類ごとの配点

分 類	配 点
1. 実施方針に関する事	5 点
2. 実績に関する事	10 点
3. 実施スケジュールに関する事	10 点
4. 実施体制に関する事	10 点
5. 情報セキュリティ対策に関する事	5 点
6. システムの使いやすさに関する事	10 点
7. 操作研修に関する事	10 点
8. 運用・保守に関する事	15 点
9. 独自提案等に関する事	25 点
合 計	100 点

評価の手順

- ア 提案評価の分類に応じ記述式回答による技術回答書を提出させ、回答内容が十分満足でき、実現の可能性が高い内容であるかどうかの書類審査を行ったうえで、技術回答書の提案内容についてデモンストレーションを含めたヒアリングを行う。
- イ 応札者側のヒアリング審査参加者は、概ね5名以内とし、本システム導入に当たってのプロジェクトマネージャー（予定者）と営業担当者の出席を求める。
- ウ 提案内容及び技術面等に関するプレゼンテーションの実施及び審査委員からの質問回答については、原則、プロジェクトマネージャーが対応する。
- エ 提案内容・ヒアリング評価の分類に応じた記述式提案内容の評価及び配点は、別紙「提案を求める事項及び採点基準」のとおりとする。
- オ 評価委員の配点を合計し、評価委員の人数で除した平均点を提案評価の技術点とする。（小数第2位を四捨五入し、小数点第1位表示とする。）

失格

本機構が重要と考える提案項目（「提案を求める事項及び採点基準」の「区分」欄に「○」が記入された項目）に対する回答について、記述回答がない場合や求める要件を満たさない場合は、合計得点に関わらず失格とする。

② 要求仕様に対する評価

分 類	基礎点	加点
財務会計システム	20 点	180 点
計	200 点	

評価の手順

ア 要求仕様に対する回答は、次のイに示す択一式回答選択肢から該当するものを一つ選択して、記号で回答するものとする。

なお、回答に際しては、ウに示す回答条件を附加する。

イ 択一式回答選択肢及び配点

記号	回答内容（対応方法）
A	標準機能として満たすことができる
B	カスタマイズにより満たすことができる
C	EUCや運用による代替案により満たすことができる
D	満たすことができない

ウ 回答条件

- (ア) 回答記号がA、B及びCについては、すべて入札価格の範囲内で実現できることが条件であり、別途追加費用が発生する場合はDとなる。
- (イ) 回答記号A及びBについては、要求仕様記載の該当システムに限らず提案するシステムのいずれかにおいて標準機能またはカスタマイズにより満たせば可とし、技術回答書の備考欄に具体的に機能を実装するシステム名及び実現性について明確に記載すること。
- (ウ) 前記(イ)については、別途記載内容について確認する場合がある。その確認課程の段階で事実と異なると判断した場合は、当該要求仕様の回答は無効とする。
- (エ) 1つの要求仕様に対し2つ以上の回答を選択した場合は、当該要求仕様の回答は無効とする。
- (オ) 無回答及び無効となった回答についてはDとなる。

エ 択一式回答書の書類審査を行った上で、要求仕様に対する各評価項目の技術点算出方法は以下のとおりとする。

【技術点算出方法】

以下の i の基礎点と ii で算出した加点の合計得点を要求仕様に対する技術点とする。

i 基礎点

「機能要件（必須）」の項目すべてが実現されている場合に、基礎点を与える。

ii 加点

(i) 「機能要件（必須）」の項目について、「A」の割合により次の数式で加点する。

$$\text{加点} = \left(\left[\text{「A」の数} \times 1.0 + \text{「B」の数} \times 0.3 \right] \div \text{「機能要件（必須）」の総数} \right) \times \text{配点}$$

(技術点の算出例)

仮に仕様評価の配点を基礎点で 20 点、加点を 180 点とした場合で、入札者の回答が「機能要件（必須）」の項目がすべて実現され、かつ以下の場合の例を示す。

【配点】

要求項目		最高点				
項番	要求仕様	記号	配点	獲得点数		
1	・・・できること。	A	基礎点 20 点 加点 180 点	200 点		
2	・・・できること。	A				
3	・・・できること。	A				
192	・・・できること。	A				
193	・・・できること。	A				
194	・・・できること。	A				
「機能要件（必須）」 194 項目						

【入札者の回答】

回 答	獲 得 点				
<ul style="list-style-type: none"> ・「機能要件（必須）」全て実現している。 ・「機能要件（必須）」のうち <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>回答「A」の数</td> <td style="text-align: right;">174</td> </tr> <tr> <td>「B」の数</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> </table> 	回答「A」の数	174	「B」の数	20	<p>基礎点 20点 ①</p> <p>加点</p> <p>「機能要件（必須）」</p> <p>$(174 \times 1.0 + 20 \times 0.3)$</p> <p>$\div 194 \times 180 \text{ 点} = 167.0 \text{ 点}$ ②</p> <p>(小数第2位を四捨五入)</p> <p>① + ② = <u>187.0 点</u></p>
回答「A」の数	174				
「B」の数	20				

失格

上記ウの回答条件に関わらず、要求項目に対する回答について、1項目でもDの回答がある場合は当該入札において失格とする。